

*総合評価について

A:優先して継続していくべきである。B:継続していくべきである。C:継続には、計画変更が必要である。D:継続の必要性は低く、中止すべきである。

番号	機関名	課題名	研究期間	研究概要	総合評価	評価委員コメント	委員コメントに対する研究機関の回答・考え方等
6	農林総合研究センター 農業試験場	ナシ・リンゴにおける新しい樹体管理技術の開発	H24-28	ナシでは、優良品種「あきづき」の収量を安定させるため、剪定法・摘心法・摘果法を検討し、花芽の着生を向上させる技術を確認する。リンゴでは、新規参入者でも取り組みやすい省力的な栽培技術として、新しくジョイント栽培技術を確認する。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・脚立のいらぬ安全な作業は、大いにリンゴ農家のニーズに応えることとなる。 ・花芽確保技術の研究や作業性や収量性、これからの研究を期待している。 ・成果の発展性に記されているように目標を完遂してほしい。 ・リンゴジョイントで栽培しても収量・品質が安定する育て方がわかると面白い。 ・ジョイント栽培技術の確認にむけて今後を期待する。 ・高齢化が進む中で、ジョイント栽培に期待する。 ・石川に適したフルーツを増やしてほしい。 ・「樹木の樹体ジョイント仕立て法」は神奈川県がナシとウメで特許取得とのことだが、リンゴは宮城県、長野県、神奈川県で研究中のようなので、共同研究として進められたらよい。 	<p>ジョイント栽培は、ナシの樹勢調整やウメの低樹高・省力化を目的に神奈川県が特許を取得しているが、ブドウやモモなど様々な樹種への適応性について、各県の研究機関で取り組まれているところである。</p> <p>この内、リンゴについては、低樹高・省力化のほかナシ遊休棚の活用等を目的に、宮城県、長野県、神奈川県で取り組まれており、共同研究という形は取っていないものの、これらの県とは毎年、研究成果や研究の進め方等に関して情報交換・共有を図っており、今後もこれらの県と連携してジョイント栽培の技術開発を進めてまいりたい。</p>
8	農林総合研究センター 林業試験場	低コストな再造林技術の確立	H24-28	県産スギを使用した植栽方法の見直しによる、低コストで健全な育成が確保される再造林技術を確認する。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・林業機械の活用は、省力化という点でもこれから大いに推進・普及させていくべきである。 ・本県に適したコンテナ苗の研究は成果を期待する。 ・コンテナの改良により対策が取られたことは評価できる。 ・課題への対応を的確に努めてほしい。 ・コスト・環境負荷はどうか。 ・重機による大苗植栽に適する林地は、県内林地にどの程度あるか。 ・地ごしらえにグラブブルを用いることは良いことだと思うが、今のやり方では課題が多いように思う。作業コストが高くないか。 ・一貫システムにするのと、別時期にするのとではどのくらい違うのか。 ・適地をつくるために林地や林道整備をするということが発生するのか。 ・伐採と植栽は一時の作業だが、下刈・間伐が長期に渡るので、後者の改善の方が重要なものでは？ ・年間200haが生み出す経済効果が見えてこない。しかし、将来に美林を残すことは必要であるが、林業の産業としての未来が見えてこない。 ・地形によって適用できる地域とそうでない地域があり、それらの条件を明確にする必要がある。 ・林業は国土保全の観点からして、絶対大切なことであると認識しているが、現実には「試験より実施(間伐や竹林をなくすとか)」ではないか。 	<p>・林業の現場で即活用できる本研究の成果を広く県内に普及していきたい。</p> <p>・伐採～植栽一貫システムでは、重機を使った大苗植栽をするために新たに道を作るのではなく、木材の伐採・搬出時に作った作業道を利用して植栽を行うため、作業の省力化が可能になる。また、作業道上で稼働するので環境負荷も少なくなると考える。林業機械を導入して伐採・搬出した現場では、森林作業道の周辺部の大部分が重機を用いた植栽が可能と考える。どの程度省力できるかは、さらに検証していきたい。</p> <p>・今後、伐採適期の森林が増加するので、伐採から再造林が重要な課題となる。下刈り、間伐の省力化、低コスト化については新たな課題として取り組んでいきたい。</p> <p>・木材資源は将来にわたって重要な資源であり、毎年計画的に伐採・植栽していくことは、資源の持続的利用のために重要なことである。</p> <p>・植栽苗の生長、雑草類の繁茂状況や地理的条件などの異なる現場での工程を引き続き調査し、低コストな再造林技術の確立に努めていきたい。</p> <p>・間伐や竹林の駆除などについても、他の研究課題で実証的な取り組みを行っている。</p>